

「読みやすい」議会だよりに

上越市議会が研修会

議員が編集手法学ぶ

上越市議会が年4回発行している市議会だより「かけはし」について、より読みやすく分かりやすい紙面作りを学ぶ研修会が29日、上越市役所で開かれた。編集の専門家を講師に招き、読者を意識した紙面のデザインや見出しの付け方など、講義とグループワークで研修した。

講師は「会議録センター」(埼玉県鴻巣市)編集課の矢嶋洋美課長ら、各自治体の議会だよりを編集している編集の専門家。現在発行している「かけはし」について診断し、表紙の季節に合わせた

色使いや地図・用語解説を加えた内容を評価する一方、「同じ大きさの写真は単調」「見出しの文字が小さい」などと課題点も指摘。「あえて余白を残した方がすっきりして読みやすくなる」「情報量

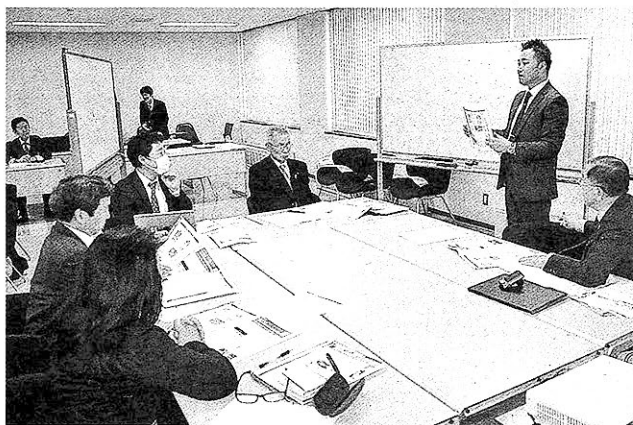
が多いのは分かるが、かえって読まれない」と読者側の視点に立ったアドバイスを送った。

グループワークでは既に発行された「かけはし」の一部をリデザイン(再編集)する作業を実践。議員が「編集会議」を開き、効果的な見出しの付け方や大きさ、目を引く写真の大きさや配置、余白を意識したページ全体の文字数など、読みやすい紙面作りに向け意見を話し合った。

議会広報広聴特別委員会の杉田勝典委員長は「魅力ある紙面作りを参考になった。レイアウト、見出し、写真の使い方など目からうろこが落ちる思い。議

員個々の議会報告などにも役立つ」と感心しきりだった。次号の「かけはし」

は2月1日に発行。同委員会は5月号から研修内容を反映させたいとしている。



読みやすい、分かりやすい「議会だより」について専門家から学ぶ研修会が開かれた